

『共生社会の実現に向けて』～インクルーシブ 教育システムの構築を目指して～ Vol.1

誰もが安心して過ごせる学校

交流及び共同学習

障害のある児童生徒の経験を広げ社会性を養い豊かな人間性を育みます。また、障害のない児童生徒にとっても、共に支え合って生きていくことを学ぶ機会になります。

分かった！
できた！

認め合える
仲間づくり



学習活動への参加
授業内容の理解

個に応じた学習の
方法や内容

一緒にやろうよ！

学校づくり



授業づくり

学級づくり

共に学ぶ学校づくり

今ある学校の支援体制を生かし、全ての教職員が共通理解を図りながら進めることが大切です。

校内支援委員会の活用



教職員それぞれの役割を明確化

授業のユニバーサルデザイン

特別支援教育の視点を教科指導や学級経営に取り入れ、発達障害のある児童生徒も学びやすいように工夫することで、結果的に全ての児童生徒が楽しく「分かる」「できる」授業づくりや学級づくりにつながります。

「分かる」
「できる」
授業づくり



家庭

子どもの育ちを支えるために、保護者と共に考える姿勢を大切にしていきましょう。

これからの

自立や社会参加の姿を
思い描く

いまの

家庭での様子や地域との
つながりを知る

これまでの

子育ての様子や育って
きた環境を知る



つながるネットワーク ～全ての子どもの 社会参加を目指して～

地域

関係機関とつながり、チームでサポートしていくことが大切です。情報を共有し、問題解決に向けて協働していきましょう。



情報を収集し
連携を図る

実現可能な支援策
を共に考える

関係機関と
役割を分担する